

令和5年度1学期終業式 校長講話

皆さんおはようございます。校長の高橋です。1学期の終業式は、あまりの暑さのため、残念なことに放送になってしまいました。皆さんの顔を見て話ができないのが残念です。本日、野球部は10時から西東京大会5回戦で早稲田実業と対戦しています。応援に行きたかった人もいるでしょうが、みんなで応援の気持ち込めて大きな拍手でエールを送りましょう。拍手。ありがとうございました。

さて、今学期は、新型コロナウイルス感染症規制が緩和され、1学期中、体育祭、遠足、TGG、部活動の公式戦等無事に実施できたことをうれしく思います。6月24日の創立70周年記念式典も全校生徒が一堂に会し、30名以上の来賓の皆様にもお越しいただき、生徒会長の挨拶を含め皆さん立派な振る舞いでした。第二部では、前生徒会長の司会で各部の皆さんが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれて、演者も鑑賞者も生き生きとしている姿を見せることができ、来賓の皆様にも「素晴らしい式典でした」と満足していただけたようで私もうれしかったです。1期生と3期生の卒業生がいらしていたのですが、皆さんの様子を見て涙ぐんでいました。皆さんの協力に感謝します。

それでは、令和5年度の1学期終業式にあたって、お話をします。

今日は、最初に性暴力について皆さんにお話しします。相手が嫌がっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりする等、性的な言葉や行動で、人を傷つけることを、性暴力と言います。体に触る行為だけが性暴力ではありません。LINEやメールで性的な言葉を送って、人を傷つける行為も性暴力に含まれます。性暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。性暴力の被害にあった人たちは、体調が悪くなったり、嫌な気持ちになったりするだ

けでなく、自分が悪いのではないかと思ってしまうこともあります。でも、決して被害に遭った人は悪くありません。悪いのは、性暴力を行う人であり、それは誰であっても許されることではないのです。もし、自分が性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、①相手が誰であっても、嫌だと声を出してください。②すぐに、その場から逃げたり、その相手と距離をとったりしてください。③そして、決して一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や担任の先生、養護の先生、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に相談してください。もしその相手が、学校の先生の場合であったとしても、性暴力は決して許されることはありません。昨年の4月から、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律」が施行されています。本日、担任の先生から、みなさんに相談用の書式を配ります。学校の先生や大人にも秘密にしたい場合は、この用紙と一緒に配られる手紙に書いてある電話番号、メールアドレスに連絡すると、性暴力の相談ができて、皆さんのことを助けてくれます。また、この用紙に相談したいことを書いて、切手無しでも郵送で相談することができます。私も先生たちも、生徒の皆さんの体と心を大切に守りたいと思っていますので、一人で悩まないで、相談してください。以上が、性暴力についてです。

ここからは、講話になります。1学期の始業式では私が先生になった理由や校長になった理由を皆さんの進路決定の参考になればと思いお話ししました。1年生で関心のある人はHPを見てください。

ところで、皆さんは、タモリさんを知っていると思います。今若者は「タモさん」と呼んでいるようです。以後敬称略ですがすみません。現在はミュージックステーションのMC、世にも奇妙な物語のストーリーテラー、ブラタモリの進行役として、テレビに出演しています。かつてお昼の12時から「笑っていいとも」の司会を務め、最初は3ヶ月のつもりで始めた番組

が32年間継続し、放送回数8054回がギネス世界記録に認定されることから、タモリ自身が『生放送バラエティー番組単独司会最多記録』で認定され、番組が『生放送バラエティー番組放送回数最多記録』として“W”でギネスブックに登録されました。彼は、博多でサラリーマン時代に「天才バカボン」などの作者の漫画家・赤塚不二雄に見いだされ、テレビの世界に登場しました。今でこそブラタモリで見せる博学で知的なイメージですが、当時はイグアナの形態模写や、四か国語マーじゃん、武村健一、田中角栄、野坂昭如の思想模写、ハナモゲラ語などをテレビやラジオでやっていたアナーキーな存在でした。(4月、「1年生になったら、1年生になったら、友達100人できるかな」の季節になると)「友達なんていなくなっただっていいじゃないですか0だってかまわない。」とか「節操はない方がいい。節操があると心が自由にならない。」とか「夢なんてなくなっただって生きていける。」など、番組の中で様々な言葉を残しています。その背景はいろいろあるのですが、ここでは省きます。私になるほどなと思って、皆さんにお伝えしたい言葉があって、『『幸せ』というのには前の上を見るんじゃなくて、後ろの下を見ること。望むものじゃなくて、感じるもの。』という言葉です。つまり、いろいろ努力したり、もがいたりしてみて気づくという前提ではあるのですが、「幸せ」は今ここにはない「理想」の状態を追い求めるのではなく、今ここにある現状に満足して、感謝することじゃないかというのです。それを一言で表しているのが赤塚氏が描く「天才バカボン」のなかでバカボンのパパのセリフ「これでいいのだ」にたどり着くというのです。あくまでも、目の前のことを継続し、考えたりした挙句にたどり着く境地で、「すべての出来事、存在をあるがままに、前向きに、肯定して受け入れる姿勢」を表しています。彼は、「仕事をしんどいと思ったことはないね。現場は楽しい。」と言っています。仕事を楽しんでいる、仕事を遊びにしていると言った人もいます。皆さんも夏休みに、やりたいと思っ

たことを精一杯やってみてください。そして、夏休みの最後に「これでいいのだ。」と言えるようにしてください。宿題をやらずに、「これでいいのだ」では困ります。ちなみに。今日の講話のためにタモリ関連の本を4冊購入しましたので、関心のある人は校長室に借りに来てください。夏休みは探究の「問い」を立て、ブラタモリのように、自分で旅のお題を決めて調査、研究、フィールドワーク等ができる良いチャンスです。また、ボランティアを考えている人は絶好の機会ですので、積極的に取り組んでみてください。

3年生はいよいよ、部活動や学校行事は最終段階を迎え、希望進路の実現に向けて準備が本格化します。「夏は受験の天王山」と言われますので、頑張ってください。2年生の皆さんは、学校行事や部活動の中心として期待していますので、できることから少しずつ頑張ってください。夏休み期間中、新型コロナウイルス感染症等から身を守り、部活動中に熱中症にならないよう、交通事故に気を付けて、SNSのルールを守り、飲酒・薬物乱用・闇アルバイト等から自分の身を守り、楽しい充実した夏休みを過ごし、8月25日には全員元気な顔で会えるのを心から願っています。私からの話は以上です。